

真庭市手話言語施策ロードマップ（案）に対する意見と市の考え方

no.	提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>素晴らしい計画案だと思います。</p> <p>手話も言語の1つだと考えると、中学卒業（義務教育が終わる）までにあいさつが手話でできるように子供を育てたいですね。</p> <p>日常会話や市の窓口等では、日本語から手話に交換できるアプリケーションがあると思う。（無ければ開発するように関係機関に働きかける）ので、ITやAIを活用すればよいと思います。</p> <p>外国の方の対応もそんな感じではないでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>多くの方に手話に親しんでいただきたいと思います。</p> <p>ご指摘のとおり、今は日本語から手話に変換されるソフトなどは今のところないと聞いておりますが、将来的には開発されていくことと思います。効率的に活用することも考えていく一方、言葉の変換だけでは解決できない福祉的な側面（対人援助）を必要とされる場合もあります。</p> <p>人と人のつながりも大事にしながら、どのような言語を使っても「当たり前」になる社会をめざしたいと考えます。</p>
2	<p>真庭市手話言語条例が3月11日の議会で可決され、4月1日の施行を心待ちにしています。</p> <p>議会では、丁寧に手話言語条例制定への必要性や細やかな配慮などを説明していただき、真庭市在住のろう者や関係者は感動し大変喜びました。また、市外から駆け付けた関係者もこのように丁寧かつ大切に扱っていただいたところは他にない！と、感心していました。</p> <p>条例が出来て「花が咲いて」終わりではなく。ここからの努力が「実を結ぶ」ためにも必要なのだと思っています。</p> <p>真庭市が、福祉課だけでなく全部・課においてこの条例を活かし育てようとしていることをこのロードマップを通し感じます。当事者である私たちでなければ担えないところもあろうと思います。許容量には限界もありますが、皆で協力し頑張ろうと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>真庭市といたしましても、この条例がゴールではなくここからがスタートだと考えています。</p> <p>手話言語に関する施策について、「総合的かつ計画的」に推進するため、このロードマップを作成し全庁的に取り組むこととしております。</p> <p>「やまなみ」のみなさまも「当事者」として様々な場面で活躍されることを期待しております。そして、気が付いたことを真庭市に発言していただきますようお願いいたします。</p> <p>「分野にとらわれない、共に生きる社会」をめざし歩んでいきたいと思っております。今後もしよろしくお願ひします。</p>